

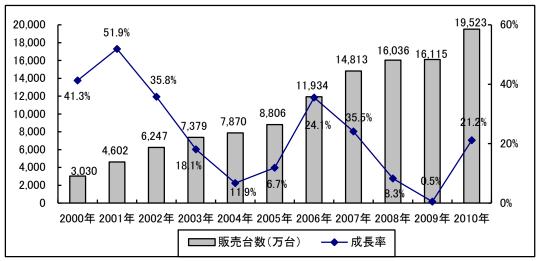
# 急成長を遂げる中国携帯電話市場 ~先進国同様、スマートフォンが次なる成長のカギに~

CCID コンサルティング

2011年12月27日

2011年、中国において携帯電話ユーザー数が世界で初めて9億人を超えた。携帯電話の販売が開始した1995年以降、携帯電話の契約数は常に2桁の伸びをみせている。最も早い段階から携帯電話の普及が開始したアメリカでさえ、契約数は3億件前後で低迷しており、これと比較しても中国の状況が突出していることは明らかである。中国では携帯電話端末の販売台数も急増しており、2010年には前年比21.2%増の1.95億台に達した。

## 図1 中国における携帯電話端末の販売台数及び成長率の推移(2000-2010年)



データ出典: CCID(賽迪顧問) 2011, 02

#### ■市場の特徴:

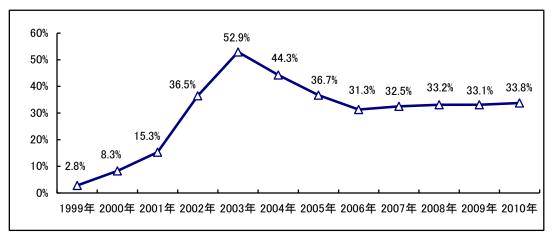
## 1、海外ブランドのシェアが高い

中国の携帯電話市場では、Nokia や Samsung、Motorola、LG、Sony Ericsson といった海外ブランドが高いシェアを占めている。なかでも Nokia と Samsung が圧倒的優位に立っており、2 社合計で市場の 50%以上を占める状態が続いている。海外ブランドの優勢を前にして、中国ブランドの市場シェアは 30%前後で伸び悩んでいる。

<sup>■</sup>本資料の一部または全部を、電子的または機械的な手段を問わず、無断で複製・転送等を行わないようお願い致します。また、当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に際してはお客様ご自身の判断にてお願い致します。



#### 図2 中国携帯電話市場における中国ブランド占有率の推移(1999-2010年)



データ出典: CCID(賽迪顧問) 2011, 02

#### 2、スマートフォンの伸びが顕著

2010年、中国スマートフォン市場が急成長を遂げ、販売台数は前年比44.0%増の3,201.2万台に達した。スマートフォンのアプリもさらに充実し、用途はビジネス用やエンターテイメント用など多岐にわたる。なかでも、MSNやQQなどインスタントメッセージングサービスのアプリが人気を集めている。スマートフォンブームは今後ますます加速し、携帯電話市場全体の伸びに大きく寄与していくだろう。

#### 3、市場開拓の余地が巨大

中国において携帯電話の普及率は既に50%を超えているが、農村部には依然として巨大な開拓の余地が残されている。Nokiaをはじめとした大手ブランドは既に農村部へ販売ネットワークを広げているが、著しい業績を収めるには販売チャネルの厳格な管理が必要となる。また、製品に関しては、スマートフォンなどのハイエンド機種よりも、ミドル・ローエンド機種を充実させることが、農村市場ではまだまだ重要となる。

### ■今後の展望:

中国携帯電話市場は今後も安定した成長を維持していくと予想される。なかでもスマートフォン需要がますます増加し、携帯電話市場の牽引役となるだろう。2011年から2013年にかけて、スマートフォンの年間販売台数は4,356.9万台から7,125.1万台に増加すると予想される。スマートフォンの普及を後押ししている要素としては、平均価格の低下が消費者の購買意欲を刺激していることに加え、メーカー各社がスマートフォンを次なる主力商品に位置付け、プロモーションに力を入れていることが挙げられる。ローエンド機種の需要は今後も農村市場などでみられていくが、やはり日本をはじめとした先進国と同様、中国でもスマートフォンが携帯電話市場における成長のカギとなることは間違いない。

<sup>■</sup>本資料の一部または全部を、電子的または機械的な手段を問わず、無断で複製・転送等を行わないようお願い致します。また、当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に際してはお客様ご自身の判断にてお願い致します。





# 中国市場調査サービス



# 中国市場調査レポート

中国市場の今を知る 最新マーケティングレポート 2010-2011 年版中国市場調査レポートを 4月1日より販売開始。詳細はこちら↓ www.j-fep.co.jp/consul/report.html



### 中国市場データ配信

企業別・地域別最新データの 定期配信サービス ご希望分野のデータを定期的にお届けする サービスです。詳細はこちら↓ www.j-fep.co.jp/consul/data.html



# 中国市場受託調査

政府系コンサル企業による ニーズ・目的に応じた調査

調査地域・分野を問わず、お客様固有の ニーズに合わせて実施するカスタムリサー チサービスです。詳細はこちら↓ www.j-fep.co.jp/consul/custom.html

<sup>■</sup>本資料の一部または全部を、電子的または機械的な手段を問わず、無断で複製・転送等を行わないようお願い致します。また、当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に際してはお客様ご自身の判断にてお願い致します。